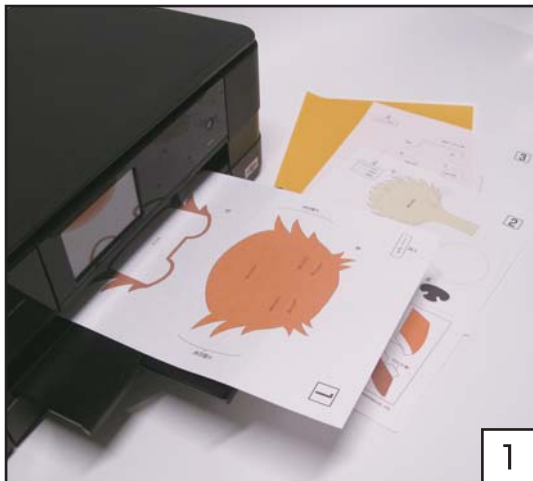


用意するもの… はさみ、カッター、両面テープ、ボンド、定規、目打ちやインクの切れたボールペンなど先のとがった固いもの
(折リスジを付けるときに使うとキレイに折れます)など。厚紙にプリントすると、作りやすくなります。

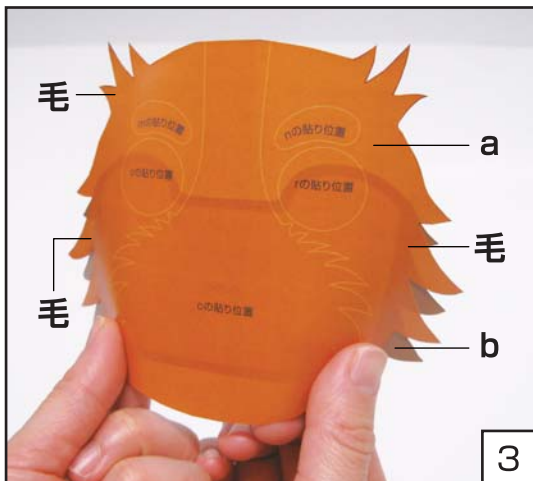


1.戌の展開図をダウンロードして出力する。



2.展開図戌のカット線を全てカットする。

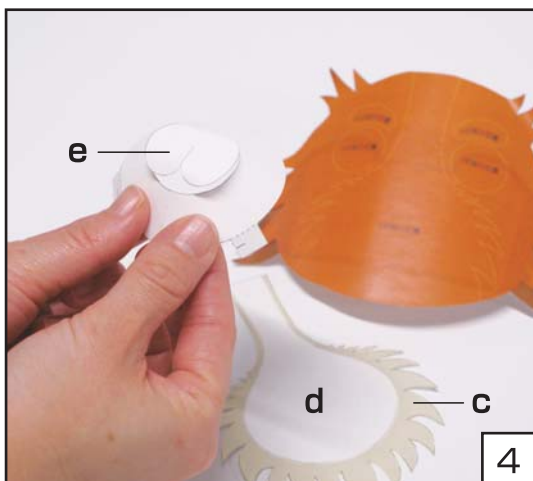
※予め、折り線を折り曲げておくと作りやすい。



3.bの「のりしろ」に糊付けし、写真の形になるようにアタリ線に合わせてaを貼る。

一旦置いておく。

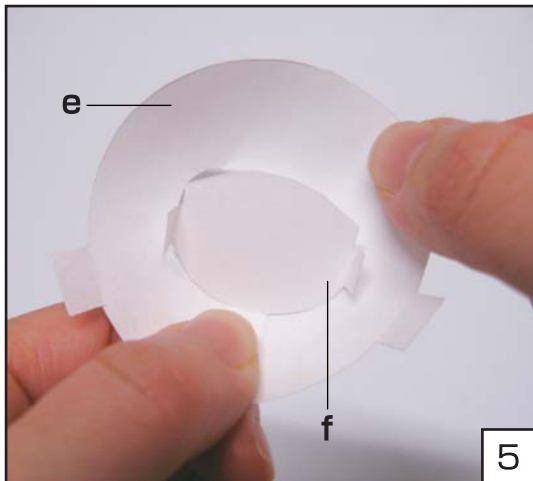
※この時、顔の中央が前へ出るように軽く曲げたり、周りの毛もカールしておくと立体的に仕上がる。



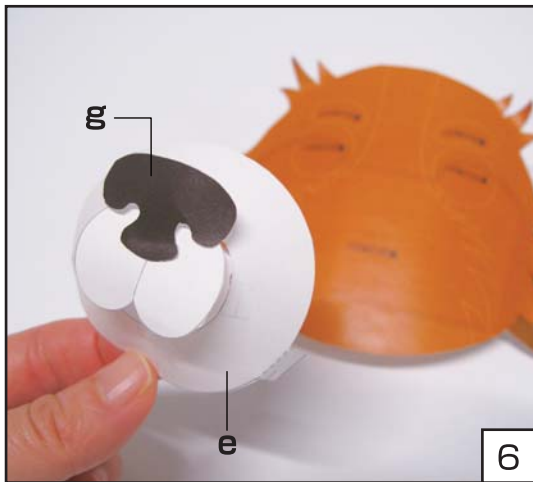
4.cの「d貼り位置」にdを貼る。

一旦置いておく。

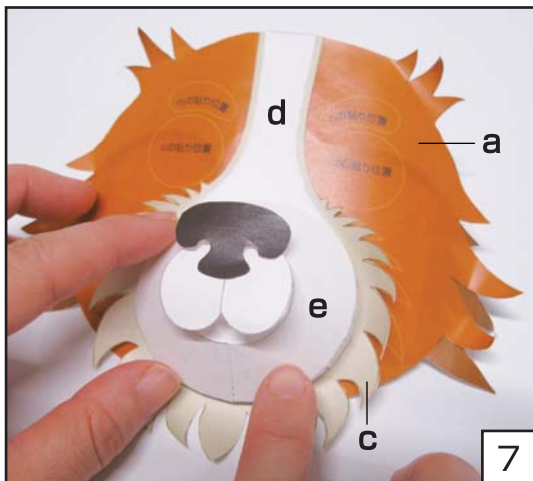
eを写真のように「のりしろ(表)」で貼り、円錐状にする。
一旦置いておく。



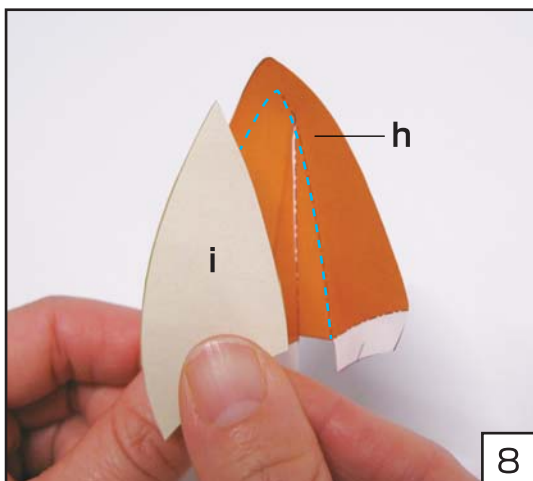
5.4のeの裏側からfの「のりしろ(表)」3か所に糊をつけ、写真の形になるように貼る。



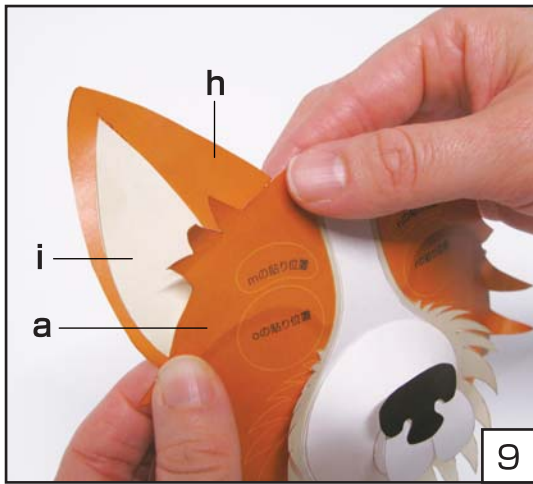
6.gをeの写真の位置に貼る。
鼻下部分を少しカーブさせて膨らませておくと、より立体的になる。



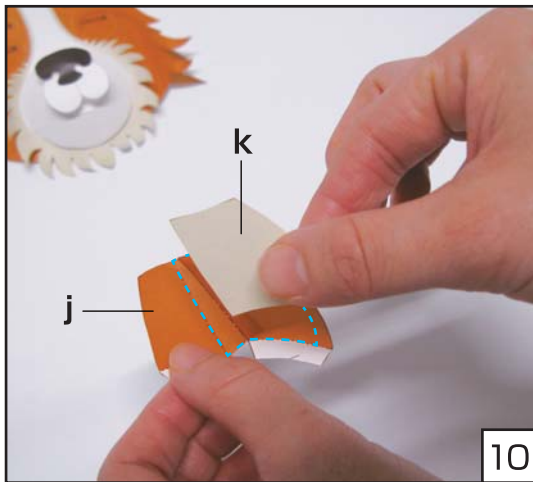
7.eの左右の「のりしろ(表)」に糊をつけてdの写真の位置に貼り、それをaの「cの貼り位置」へアタリ線に合わせて貼る。



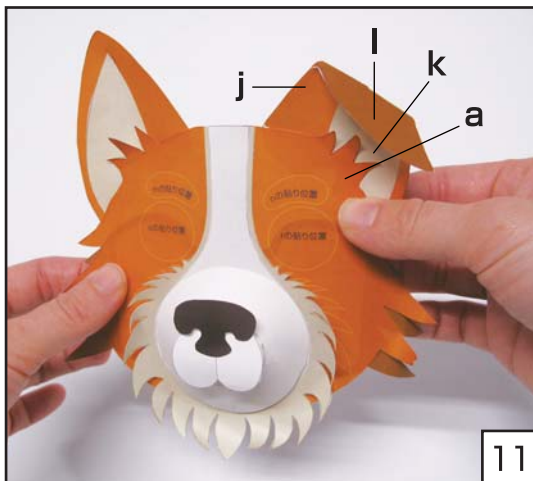
8.耳(左)の中心の「のりしろ(表)」に糊をつけて写真のように形作り、iパーツを写真の位置に貼る。



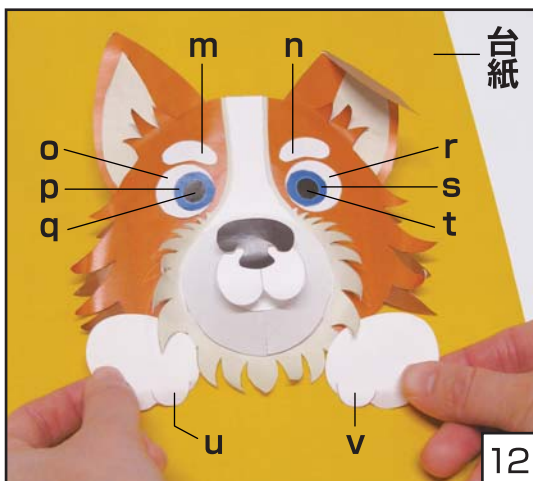
9.hの残った「のりしろ(表)」2か所に糊をつけ、
aの裏側から写真の位置に貼る。



10.耳(右)jの中心の「のりしろ(表)」に糊をつけて
2枚を写真のように貼り合わせ、
kパーツを写真の位置に貼る。



11.lの「のりしろ(裏)」2か所に糊をつけ
jの裏側から前へ垂れるように貼る。(写真参照)
jの残った「のりしろ(表)」2か所に糊をつけ、
aの裏側から写真の位置に貼る。



12.目(左)o・p・q、目(右)r・s・tを写真のように
アタリ線に合わせて「のりしろ(裏)」で貼っていき、
aに貼る。

まゆm、nも同様にaに貼る。

手(左)u、手(右)vを写真の位置へ、
cの毛先に糊をつけて貼る。

※厚みのあるウレタンやスポンジテープなどで、
台紙に貼り付けて完成。